

ビーチフラッグスにおける抗議，上訴の時間制限について

ビーチフラッグスにおける抗議，上訴の時間制限を下記のように変更します。

記

ビーチフラッグスにおいて競技中に起きた行為や競技規則違反についての抗議，上訴が可能な時間を次のように制限します。

■抗議

競技者が除外または失格を通告されてから 15 分以内，若しくは，当該競技者のヒート（または決勝）の次のランスルーがスタートするまでの，どちらか早い時刻までに口頭で抗議せねばならない。さらに口頭による抗議後 15 分以内に，抗議申立書をチーフレフリーに提出せねばならない。

■上訴

抗議の裁定が競技者に伝えられてから 30 分以内，若しくは，当該競技者のヒート（または決勝）の次のランスルーがスタートするまでの，どちらか早い時刻までに預託金を添えて上訴委員長に上訴せねばならない（上訴申立書を提出せねばならない）。

ただし，次のランスルーがスタートするまでの時間が短く預託金及び上訴申立書の準備が間に合わない場合，口頭で上訴の意思を伝えるだけでもよい。しかし，抗議の裁定が競技者に伝えられてから 30 分以内に預託金を添えた上訴申立書の提出がないと，口頭で伝えられた上訴を受け付けないこととする。

■競技の一時停止

競技者から抗議／上訴があった場合，直ちに当該競技者のヒート（または決勝）及び関係するヒートの競技を停止する。

■有効期間

上記の措置は，本文書の暫定発行の日（2019年6月7日）から，本件にかかる新たな通知または競技規則等が制定されるまで有効とします。

■解説

競技規則 2019 年版では，競技中に起きた行為や競技規則違反についての抗議は，競技結果が掲示されてから，若しくは，通告されてからの，どちらか早い時刻から 15 分以内に口頭で行うことになっています。また，上訴は，抗議の裁定が競技者に伝えられてから 30 分以内に行うことになっています。

しかし，ビーチフラッグスの場合，競技者が抗議／上訴できる最大 15 分／30 分の間に，往々にして当該競技者のヒート（または決勝）のランスルーが当該競技者抜きで繰り返されます。そして，その抗議／上訴が支持された場合，当該競技者をどのように救済すれば公平で合理的であるかが問題となり，競技の遅延や混乱を来す恐れもあります。これは日本国内だけでなく海外の競技会においても同様で， ILS スポーツ委員会でも時間制限を課す案が議論されているとのこと。

そこで， ILS スポーツ委員会からの正式な決定が出るまでの間，少しでも現場の混乱を避けるため， JLA では暫定的に上記の措置を定め運用することとしました。

競技者及び関係者の皆さまには，何卒，ご理解とご協力をお願い申し上げます。

■履歴

2019 年 06 月 07 日 全日本ジュニア／ユース／マスターズ選手権大会（ビーチ）2019 のために暫定発行（文書番号：競審委 2019-003-暫定）。

2019 年 06 月 10 日 正式発行（文書番号：競審委 2019-003）